



令和 2 年 月 日
午前・午後 時 分 受領

令和 2 年 5 月 28 日

北中城村議会議長 名幸利積 様

北中城村議会議員 天久朝誠

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
自治体の業務効率化、住民サービスの向上へ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用	過去の私の一般質問でSNSの一つ、Facebookの活用を導入するよう求めた事がある。本村でどのように現在活用しているか。今後、業務の効率化と住民サービス向上へさらなる活用が必要ではないか。その中でも、LINEは8000万人以上が活用しているアプリケーションであり、より村民に身近なものであると考える。 今回の新型コロナウイルスの影響で、業務のあり方の見直しを迫られる状況にあるのではないかと推測する。効率性と住民サービスの提供の方法に力を発揮するのがLINEをはじめとする様々な新しい技術の活用ではないか。以下は日本の自治体でLINEが活用されている事例である。 ・一斉配信による情報の発信 ・地域住民が必要としている情報をセグメント配信で提供 ・地域住民からの情報提供をLINEで受付 ・チャットボットやAIによる自動応答サービスで住民の問い合わせに24時間自動回答 ・災害時に信頼性の高い情報を提供 ・自動応答サービスで24時間情報提供・面談予約受付 ・住民票申請・粗大ごみ受付など各種行政サービスの提供 ・自治体独自のふるさと納税特設サイトへのLINEログイン導入	村長 教育長

学校教育や行政
事務へICT導入、
AIの活用

本村でも、活用へ向けて進めていく必要がある
と考える。当局の考え方を伺う。

2018年10月議会私の一般質問において、学校教
育へICT機器の導入を求めた。教育委員会は必要性は
認識していたようであるが、導入にはいたっていない
現状である。今回の新型コロナウイルスの影響で、教
育環境も大きな変化への対応に追われていると思うが、
よりICT機器等の活用への必要性は高まっているので
はないか。また、先の質問とも関連するが、行政事務
においても、ICT・AIの活用が今後より重要性を増して
くるのではないかと考えている。
本村でのICT（情報通信技術）、AI（人工知能）の活用
へ向けての導入や活用研究は行われているか伺う。

村長
教育長

新型コロナウイ
ルスでの経済・
生活支援

新型コロナウイルスで、経済的に打撃を受けた
村民への支援をどのように考えているか。これ
まで、国、県、北中城村それぞれ経済的支援を
行ってきた。特に本村では、中小零細企業や個
人事業主への支援を行っている。申請から給付
まで非常に短い時間で実施できた事は、受給者
から高く評価されている。

今回の新型コロナウイルスは、全ての世帯で
なんらかの影響があったと考えられるが、その
中でも次の対象世帯が経済的に最も大きな影響
を受けているのではないかと考える。

- ・母子・父子家庭への支援
- ・障害児保育家庭への支援
- ・子育て家庭への支援

一時金や給食費の補助等で、経済的支援を行い、
第一に生活支援、副次的に村内景気対策へ繋がる
のではないかと考えるが村当局の考えを伺う。

村長
教育長

